

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

憲法いかし、いのちまもる国民集会



10月22日、社会保障の充実や医師・看護師・介護職員の大幅増員と処遇改善、戦争法ストップなどを求めて、「憲法いかし、いのちまもる国民集会」が、保団連や民医連、医労連、中央社保協など11団体の実行委員会主催で日比谷野外音楽堂で開催され、3500人が参加しました。

集会は、日本医労連の中野千香子委員長が主催者あいさつを行い、集会の呼びかけ人の本田宏氏（医療制度研究会副理事長）と伊藤真美医師（花の谷クリニック院長）があいさつを行いました。集会のゲストとして参加した精神科医で立教大



現場からのリレートークでは、医師、患者、労組など5団体から発言がありました。最後に、集会アピールを確認し、「憲法25条守れ、平和憲法守れ」とアピールした銀座パレードが行われました。

学教授の香山リカさんからは、「みんなで声を上げれば、何かが変わる」と力強いエールが送られました。



第43回中央社保学校



会場は参加者で埋め尽くされ、4つの講演とシンポジウム、社会保障基礎講座と横須賀軍港めぐりのフィールドワークが行われ、「戦争法」強行と社会保障解体攻撃のもとでの情勢とそれに抗する世論と運動が広がっている状況を学び合いました。また、こうした情勢をふまえ、「憲法を守り、安全・安心の医療・介護を実現する大運動」

10月15日、17日、神奈川県横浜市の「ワークショップ横浜」をメイン会場に第43回中央社保学校が開催されました。

を全国で広げていくことを確認しました。



観艦式直前の護衛艦



シンポジウム
社会保障解体を許すな！安全



渋谷社保協

生活保護改善で渋谷区と交渉

渋谷社保協は8月19日、渋谷区に対して生活保護行政の改善を求める要請を、生活と健康を守る会と共同で行いました。区からは、福祉部の管理課と生活福祉課が対応しました。

7月から始まった国による住



宅扶助削減について、「家賃の高い渋谷区では転居を迫られることがないようにしっかりと対応して欲しい」「国に削減中止の意見書をあげてほしい」など、住宅扶助を引き下げない、老齢加算の復活、生活保護申請用紙の交付、ケースワーカーの増員、区独自の特別給付金の復活、熱中症防止対策のためのクーラー設置助成などで要請し意見交換を行いました。

これに対して区からは、受給者にとって大変な問題であり配慮していきたい。23区区長会などでも意見を上げたいと回答しました。その他、ケースワーカーは増員したい、保護申請は受け付ける。特別給付金の復活、クーラー設置や電気代の補助など「法外援護策」の要望は貴重な意見として承りたいと回答しました。

区議会に国保・生保要求を請願

渋谷区議会に、渋谷社保協は国保と生活保護の2つの請願書を提出しました。

提出に先立つ9月8日、議会各会派に請願の趣旨説明を行い賛同を要請しました。その内容は、国保料の値下げと減免申請制度の周知徹底、住宅扶助費の



削減による転居指導をしないこと及び区独自の住宅家賃助成などです。

(渋谷社保協ニュースより)

町田社保協

町田社保協は、介護報酬の大幅引き下げと介護保険制度の「改正」に対して、介護事業所アンケート(9月23日発送・10月末集計)を実施しました。

アンケートは、町田市内の168施設に郵送し10月8日現在56施設(33%)から回答が寄せられてきています。寄せられた回答では、「新総合事業について懸念している」「市から総合事業の情報ほとんど寄せられない」「不安が回答の大半を占めてい

ます。

町田社保協では、アンケートを早急に集計して町田市に対して事業所の声を伝え、改善の要望を11月に実施する予定にしています。

(事務局 八柳ひろ子)

都議会開会日行動

9月18日、都議会第三回定例会の開会日行動が、都民連、東京地評、東京社保協主催で都庁前で開催され、250人が参加しました。

集会では、共産党の徳留都議が連帯挨拶を行い、戦争法案阻止の取り組みや、教科書採択運動、オリンピックの課題などの決意表明が行われました。

東京社保協は、この行動に引き続き、都知事要請や都議会各会派要請に取り組みました。



都知事要請行動

各地域・団体の取り組み

東京キャラバン宣伝

東京社保協も加盟する「消費税廃止東京各界連」は、7月から毎月「消費税増税中止、第2次全都キャラバン宣伝行動」に取り組んでいます。

10月19日は、大井・品川・谷中の各駅で宣伝を行い、消費税増税中止を求める署名を77人から集めました。

谷中では、特に通行人の反応が良く、「頑張って下さい」との励ましの声や、宣伝カーからの訴えを立ち止まってじっと聞く買い物客の姿もありました。

7月から行ってきたキャラバン宣伝で、消費税増税中止署名を累計277筆、戦争法廃止署名を累計201筆集めています。



このキャラバン宣伝行動も、11月13日が最終日となります。最終日の15時から、新宿駅東口で最終の大規模宣伝行動を行いアピールして行く予定です。各地域や団体からの参加で成功させましょう。



介護をよくする東京の会

介護をよくする東京の会は、4月から実施された介護保険制度の「改正」及び介護報酬の大幅引き下げに対し、介護事業所への影響アンケートを在宅以外の施設に対し実施し、通所・在

宅などの事業所調査は各地域で行っています。

10月末現在、特養・老健・グループホームなど100を超える事業所から回答が到着しています。地域では日野、八王子、町田、豊島、足立、昭島地域では調査を完了し、品川、葛飾、西東京地域は実施に向けて検討を行っています。また、すでに調査を終了した地域では、調査結果をもとに自治体に対して懇談と要望を実施しています。

この「事業所アンケート」の集約については、各自自治体ごとに集約するとともに、東京全体の集約も「介護をよくする東京の会」として行います。(10月末時点で第一次集約、11月末最終集約予定)

介護をよくする東京の会は、この事業所アンケート結果をふまえて、来年1月16日に「介護フォーラム2016」を開催し、アンケート結果の報告と総合事業の実施状況と各地域の交流を行なっています。

実施していない地域では、アンケートの取り組みを検討して下さい。

(介護をよくする会事務局)

介護・認知症なんでも無料電話相談

日時 11月11日(水)10時~18時

でんわ 0120-287110

①第2回地域社保協事務局長会議

23区地域 11月10日(火)14時~東京労働会館5階地評会議室

多摩地域 11月12日(木)14時~立川・地域保健企画ビル2階

②2015年度地域社保協会長会議

11月29日(日)14時~東京労働会館5階会議室

第27回 東京高齢者のつどい

資料代 500円

日時 11月16日(月)13時~16時半

会場 杉並公会堂

ストップ介護崩壊！ 介護学習決起集会

講演 林泰則氏(全日本民医連事務局次長)
パネルディスカッション・特別報告など

日時 11月7日(土)13時~17時

会場 中央大学駿河台記念館

地域医療を守る運動 全国交流集会

とき 11月28日(土) 10:00~16:30

ところ 東京ビッグサイトTFTホール(東館9F)

参加費
500円

全体会 10:00~12:30

記念講演 「地域医療拡充の実践と今後の課題」

講師 野口 マリ子氏(元日の出町議)

特別報告 「静岡での地域医療を守る運動」

講師 小林 不二也氏(静岡富士病院の統合問題対策会議事務局)

基調報告 「地域医療を守る運動の発展のために」

分散会 13:30~16:30

助言者 地域医療を守る運動の分散会(3会場に分かれて)

①横山壽一氏(金沢大学教授) ②長友薫輝氏(三重短期大学教授) ③佐藤英仁氏(東北福祉大学講師)

主催:地域医療を守る運動全国交流集会実行委員会